

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 イーハートブ 森の恵み3ツ星ハウス

グループの名称 わが街大工の住まいるネットワーク

直近採択グループ番号 06-0467-0047

(グループ代表者)

代表者名	宍戸 正夫	代表者印
代表者所属先	有限会社タカラ住建	
代表者所在地	岩手県一関市千厩町奥玉萱刈場63-4	
代表者電話番号	01-9156-2202	

(グループ事務局)

事務局事業者名	永沢木材株式会社	
事務局担当者名	永沢 建一	印
事務局郵便番号	029-0803	
事務局所在地	岩手県一関市千厩町字摩王12-1	
事務局電話番号	01-9152-5111	
事務局FAX	01-9152-5114	
事務局担当者E-mail	nagasawa-mokuzai.com@ab.auone-net.jp	



B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)			戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)		戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)			戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局に相談があった先着順とする</li> <li>・地域材の加算額は総額の件数均等割りとする</li> </ul>							
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸	
優良建築物型									
採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
採択床面積		m <sup>2</sup>	交付申請床面積		m <sup>2</sup>	完了実績(竣工予定含む)床面積		m <sup>2</sup>	





















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) イーハートブ 森の恵み3ツ星ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、宮城県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) わが街大工の住まいるネットワーク	(結成年) 2011 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0467-0047	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・積雪、耐震、腐食を考慮し、柱、梁、桁、土台は4寸巾以上を推奨する(施主様の予算上4寸巾仕様で厳しい場合、及びバリアフリーに関する箇所は3.5寸巾も可とする) ・夏は高温多湿で冬場の寒さも厳しい地域の為、H25年度省エネ基準以上を仕様とする	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・桁はなるべく継手を少なくした設計に配慮する ・地質に合わせた地盤調査を行いその結果を踏まえ適切な地盤の上に建物を建築する事とする	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・世界遺産となった平泉が近隣にあり、地域と調和の取れる、デザインや色彩を提案する。	○
④①～③の背景	・毎年積雪があり、夏場はそれなりに高温多湿になる気候である。 ・地盤は悪い地域では無いが、すでに直近8年間で3度の大地震を経験しており、地震に対する備えが必要である。 ・田園風景中心のエリアでかつ世界遺産である平泉に隣接している。 ・構成員が震災後、解体補修を行った現場の多くが地盤、基礎、桁の継手を原因とするものが多かった。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・岩手県の豊富な森林資源を有効活用する為、主要構造材以外の羽柄材や内装材にも積極的に地域材を活用するように努力提案する。 ・震災復興の終盤にさしかかり費用的な側面で厳しい物件が多くあり現状に寄り添う形で今年度より3.5寸の仕様も認める。 ・当グループの多くの構成員が本社を構える一関市が国のバイオマス都市構想に採択しました。一関市の地域材に興味をもって活用頂けるように一関市民にPRする。	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: ・コストダウンの要求により3.5寸仕様も可とした為。	
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・ネットワークの標準仕様カタログを作成した。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・断熱材やサッシの標準仕様を定めた。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・省エネに関する設備機器の仕様を作成し商品の統一化をはかる ・商品やメーカーを絞る事でコストダウンをはかる	○
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: ・水廻りメーカーの採用を見直し内容を向上させた。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: ・施工側とメーカー側の要望や提案を精査し商品力の向上とコストダウンをはかる。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: ・住宅を請け負った施工会社の社員、または職人が必ず現場で質の高い施工を指導する。構造見学会を開催する事で見えない箇所にも緊張感をもたせ施工品質を向上させる。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: ・施工基準に基づいた検査を請け負った施工会員以外の施工会員がチェックする。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: ・見積書はなるべく一式表示を避け一般施主がわかりやすい表現に変更した。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: ・構造見学会、完成見学会を通じ実際の現場を見て頂き高い品質を体感頂き信頼性の向上につなげる。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	■ ない □ ある → 内容: ・地域柄、春、秋の繁忙期と冬場で休日に偏りが生じてしまう。	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない ■ ある → 内容: ・新人には訓練協会での訓練、資格を取得した物には手当を出すようにしている。	○
③ 社会保険への加入	■ ない □ ある → 内容: ・グループ内の施工会員の企業規模に違いが多く現時点で徹底できていない。	
④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない ■ ある → 内容: ・各社安全大会を行いルールを確認している。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・平成32年までに、施工会員の過半数以上が長期優良住宅、ゼロエネ、低炭素、ゼッチ、いずれかの施工実績を作る	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) イーハートブ 森の恵み3ツ星ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、宮城県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) わが街大工の住まいるネットワーク	(結成年) 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0467-0047	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループとして設計図書を住宅履歴情報機関「いえかるて等」に管理を推奨する・30年間の維持管理計画書の策定を検討する	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・情報サービス機関「いえかるて等」の活用	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工員がそれぞれ策定した維持管理計画書に基づいた点検をおこなう	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検の結果、補修が必要と判断された場合、施主と費用等を話し合い補修を行う	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・年に一回、わが街大工の住まいるフェアを実施し、OB施主向けの住宅相談を実施する	◎
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・わが街大工の住まいるフェアの中で様々なDIYを企画している	◎
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工構成員の開催する構造見学会や完成見学会をおこなう。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・わが街大工の住まいフェア実行委員会＝維持管理検討委員会として活動する	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり他の構成員に住宅履歴、維持管理計画を施主了承の基に引き継ぐ	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・事務局に住宅相談窓口を設け、構成員へ情報発信できる環境を検討する。	○

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・ゼッチの勉強会を開催する・対象物件を使った現場での研修会を開催する		◎
	②-1 品質管理のための共通ルール <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・研修会の様子を記録する		○
	③-1 需給計画の策定 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・急激に進む少子高齢化、限界集落に対する需要の確保の為に計画を模索している		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・2020年にグループの構成員の半数以上が長寿命型、高度省エネ型住宅の実績を目指す・各種イベントや高性能住宅の見学会を通じネットワークの信頼性を向上させる		○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工の情報交換会を実施し施工面の合理化、精度の向上をはかる		○
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 1	
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 7 今年度の参加目標人数 1			○
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が日程や会場を未受講者の連絡し参加をうながす			○
c	① 新たな技術等の導入 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・これまで導入した省エネ機器の採用を継続しながら、建物自体の精度をたかめる		
	② 新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・施工構成員は、既存住宅状況検査員の資格取得を行う	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) イーハートブ 森の恵み3ツ星ハウス	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県、宮城県												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) わが街大工の住まいるネットワーク	(結成年) 2011年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0467-0047													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a														
①	地域材利用に関する 共通 ルール(必須)	・土台: ヒノキ・カラマツ・クリ(岩手県産材証明制度または合法木材証明制度) ・柱: 杉、カラマツ(岩手県産材証明制度または合法木材証明制度) ・梁、桁: 杉、カラマツ(岩手県産材証明制度または合法木材証明制度)												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない    <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない    <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	・長尺の原木の入手がバイオマスの影響で困難になったが、森林組合の協力で確保の目途が立った。												
b														
①-1	地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・施工員から提出された、設計書を基に原木量と照合し適正在庫を確保している												
①-2	地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・当ネットワークの地域材は岩手材、みやぎ材が中心の為、為替の影響が少ないがバイオマス、合板工場の新設の影響に注意は必要。森林組合との強い連携が必須である												
②	グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・バイオマス、合板優先に原木が流通する為、伐採しにくい冬場に地域材が急減する ・住宅における地域材の需要はまだ少ない												
c														
①-1	畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・間取りの段階で一部屋の和室の設置を提案する。												
①-2	和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
①-3	襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室採用時には襖の設置を提案する。												
①-4	障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室の採用時には障子の設置を提案する。												
②-1	その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・一関市東山町の手漉き和紙の活用を提案する。												
②-2	その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
d														
①	地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
②	地域の住まい方の継承に つながる取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
③	地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域の街並みに調和するような色彩を提案する												
④	和の住まいの要素を取 入れた取組	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
その他	※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	・主様様の住まい方に丁寧に耳を傾けた上で建築のプロとしての住宅提案、性能や素材、間取り等を心がける												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
	東日本大震災の復興に資する取組	・岩手県復興住宅協議会と連携し良質かつ安価な復興住宅の供給に励む ・わが街大工の住まいるフェア等のイベントを通じ、ネットワークの家造りを住宅再建者の方々を知って頂く ・岩手、宮城の被災地産材を積極的に活用する												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組													

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> イーハートブ 森の恵み3ツ星ハウス	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 岩手県、宮城県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> わが街大工の住まいるネットワーク	<small>(結成年)</small> 2011 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0467-0047	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。